

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年08月20日

計画の名称	紀の川市地域住宅整備計画												
計画の期間	平成28年度～平成32年度(5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	紀の川市												
計画の目標	『住宅・建築物の耐震化や長寿命化修繕を行い、安全で快適に居住できる住宅環境を実現する。』												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	127	A	127	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	市営住宅の耐震化の割合 市営住宅の耐震化の割合 市営住宅(全398戸)の耐震化の割合=耐震化完了戸数/全市営住宅戸数	14%	%	24%
2	市営住宅の長寿命化完了戸数の割合 市営住宅の長寿命化完了戸数の割合 市営住宅に係る長寿命化計画(165戸)に基づく長寿命化修繕完了戸数の割合	45%	%	72%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	紀の川市	直接	紀の川市	—	—	地域住宅計画に基づく事業	公営住宅等ストック総合改善事業	紀の川市	■	■				7		策定済	
	A15-002	住宅	一般	紀の川市	直接	紀の川市	—	—	地域住宅計画に基づく事業	住宅地区改良事業等	紀の川市			■	■	■	120		策定済	
											小計							127		
											合計							127		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

紀の川市役所建設部都市計画課職員で対応

事後評価の実施時期

令和3年3月

公表の方法

紀の川市ホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

・市営住宅の耐震化について、68%達成できた結果、入居者の居住にかかる安全性が向上した。  
・市営住宅の長寿命化修繕を実施した結果、紀の川市営住宅長寿命化計画の進捗を図ることができ、快適な住環境の向上につながった。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

・長寿命化修繕については、紀の川市営住宅等長寿命化計画を令和2年度で改定、計画を令和3年から令和12年の10年計画とし、今後も引き続き長寿命化計画に基づき実施していく予定である。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	24%
	最終実績値	68%
当初現況値及び最終目標値に誤りがあったため。		
2	最終目標値	72%
	最終実績値	72%